

尾崎病院

健診センターだより 第3号

～地域の皆様の健康づくりをサポートします～



～ 大腸がん検診について ～

がんは誰でもかかる可能性があります

がんは、生涯で日本人の2人に1人がかかる身近な病気と言われており、全国および鳥取県においても2020年の死因第1位となっています。



大腸がんは鳥取県で一番多いがんです

2018年の全国統計によると、鳥取県はがんと診断された方が最も多い県となっています。さらに、部位別では「大腸がん」が最も多いということが分かりました。

大腸がんは40歳くらいからかかる人が増え、早期では自覚症状がありません。進行すると症状が出るのが多くなります。

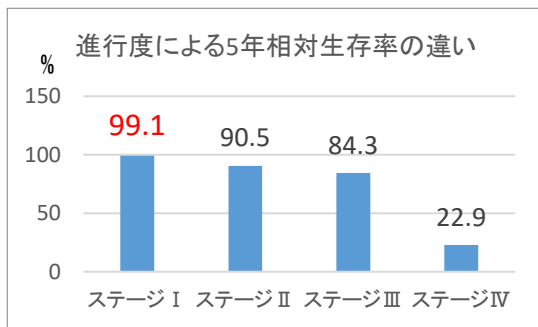
〈大腸がん初期症状5選〉

1. 排便習慣の変化（便秘、下痢と便秘を繰り返す）
2. 血便
3. 体重減少
4. 貧血



ふだんから便を観察しましょう

ただし、大腸がんは早く見つけて治療すれば治りやすい病気です。早く見つけて治療をすれば99.1%の人が治ります。



※出典：がんの統計'21
「全国がんセンター協議会加盟施設における5年相対生存率（2010～2021年診断例）」

早期発見・早期治療のために40歳以上の方は定期的に大腸がん検診を受けることをおすすめします

対象年齢	40歳以上
検診の間隔	毎年1回 ※ただし、その間に気になる症状がある場合は医療機関を受診しましょう。
検査方法	問診・便潜血検査（便に血液が混ざっていないかを調べます）

便潜血検査は、**食事制限もなく自宅で2日分の便を専用容器に採るだけ**の安全で簡単な検査です。**この検査で便に血が混じっているとわかった場合、100人中3～4人くらいが大腸がん**と言われてています



鳥取市の大腸がん検診受診券を利用すると
無料または500円で受けられます
受診期間が2月末までとなっていますのでお早めに！

〈検診の流れ〉

- ① 予約する
採便容器と検診票をもらう
- ② 採便する
2日分の便を採る
便の表面をこするだけで簡単
- ③ 採便容器と検診票を提出する
決められた日時に提出
医師診察はありません
- ④ 結果が届く
結果を確認する
陽性（+）の場合は、精密検査を受ける

大腸がん検診の結果が陽性（+）の場合は、必ず精密検査を受けましょう

通常、大腸内視鏡検査が行われます。肛門から内視鏡を入れて、大腸にがんやポリープなどがいないか調べます。

「痔だから」「たまたまだろう」など自分で判断せず、必ず精密検査を受けましょう。



（ご予約・お問い合わせ）医療法人社団 尾崎病院 健診センター
〒680-0941 鳥取市湖山町北2丁目555
直通 TEL：0857-31-2665 / E-mail：kenshin@ozakihp.or.jp